

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年11月29日)

- 1 「平成30年7月豪雨」に係る災害査定の様況及び「台風24号」に伴う公共土木施設の被害様況等について(県土整備部関連)
【技術企画課】……1ページ
- 2 山陰近畿自動車道整備推進決起大会の開催について
【道路企画課】……3ページ
- 3 中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進総決起大会の開催について
【道路企画課】……4ページ
- 4 県管理河川における緊急点検の結果等について
【河川課】……5ページ
- 5 鳥取港長期構想検討委員会の開催について
【空港港湾課】……6ページ
- 6 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路企画課、道路建設課、河川課、治山砂防課】……7ページ

県 土 整 備 部



**「平成30年7月豪雨」に係る災害査定状況及び
「台風24号」に伴う公共土木施設の被害状況等について（県土整備部関連）**

平成30年11月29日
技術企画課

平成30年7月豪雨に伴う公共土木施設等に係る災害査定（1～4次）を平成30年9月3日（月）から11月1日（木）までの期間、実施しましたので、その結果について報告します。

また、平成30年9月29日から10月1日にかけて鳥取県を通過した台風24号に伴う公共土木施設の被害についても併せて報告します。

1 平成30年7月豪雨に係る公共土木施設の災害査定結果

(1) 国土交通省関係（港湾含む）

	箇所数	申請額（千円）	決定額（千円）	査定率（%）
県	312	8,156,522	7,909,663	97.0
市町村	65	556,393	533,835	95.9
合計	377	8,712,915	8,443,498	96.9

(2) 農林水産省林野庁関係

	箇所数	申請額（千円）	決定額（千円）	査定率（%）
県	1	5,200	5,200	100.0
市町村	—	—	—	—
合計	1	5,200	5,200	100.0

(3) 災害査定結果の詳細

【国土交通省所管】

（単位：千円）

工種	県					市町村					合計				
	①申請		②決定		査定率 ②/①	①申請		②決定		査定率 ②/①	①申請		②決定		査定率 ②/①
	箇所数	金額	箇所数	金額		箇所数	金額	箇所数	金額		箇所数	金額	箇所数	金額	
河川	167	5,487,228	167	5,308,309	96.7%	20	124,757	20	119,689	95.9%	187	5,611,985	187	5,427,998	96.7%
砂防設備	92	1,151,968	92	1,137,575	98.8%	0	0	0	0	—	92	1,151,968	92	1,137,575	98.8%
道路	51	1,463,450	51	1,411,357	96.4%	44	385,302	44	374,940	97.3%	95	1,848,752	95	1,786,297	96.6%
地すべり	1	42,918	1	41,464	96.6%	0	0	0	0	—	1	42,918	1	41,464	96.6%
港湾	1	10,958	1	10,958	100.0%	0	0	0	0	—	1	10,958	1	10,958	100.0%
橋梁	0	0	0	0	—	1	46,334	1	39,206	84.6%	1	46,334	1	39,206	84.6%
公園	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	312	8,156,522	312	7,909,663	97.0%	65	556,393	65	533,835	95.9%	377	8,712,915	377	8,443,498	96.9%

【農林水産省林野庁所管】

（単位：千円）

工種	県				市町村				合計						
	①申請		②決定		査定率 ②/①	①申請		②決定		査定率 ②/①	①申請		②決定		査定率 ②/①
	箇所数	金額	箇所数	金額		箇所数	金額	箇所数	金額		箇所数	金額	箇所数	金額	
治山施設	1	5,200	1	5,200	100.0%	—	—	—	—	—	1	5,200	1	5,200	100.0%
合計	1	5,200	1	5,200	100.0%	0	0	0	0	—	1	5,200	1	5,200	100.0%

※7月豪雨に伴う被災については、残り3件（河川1、公園2）を除き、4次査定をもって査定を完了した。残る河川は5次査定（11月26日の週）で、公園は台風24号に係る災害査定（12月下旬から1月の間で調整中）と併せて実施する予定である。

2 台風24号に伴う公共土木施設に係る被害状況等（10月30日現在）

(1) 箇所数及び被害額（国への報告額）

<箇所数> 308箇所（うち県 176箇所）

<被害額> 5,112,930千円（うち県 3,644,500千円）

（単位：千円）

		県工事		市町工事		計	
		箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
国交省 所管	河川	89	2,069,500	45	368,500	134	2,438,000
	砂防	27	277,500	0	0	27	277,500
	道路	59	1,277,500	81	982,800	140	2,260,300
	橋梁	0	0	1	10,000	1	10,000
	下水	0	0	2	2,000	2	2,000
	公園	0	0	3	105,130	3	105,130
	小計	175	3,624,500	132	1,468,430	307	5,092,930
農水省 所管	治山	1	20,000	0	0	1	20,000
	小計	1	20,000	0	0	1	20,000
合計		176	3,644,500	132	1,468,430	308	5,112,930

※上記、災害復旧事業対象とは別枠の単独災害復旧事業として漁港（漂着物）：1箇所1,600千円がある。

【主な被災箇所と対応状況】

国道179号（三朝町久原）の応急復旧状況



被災直後



応急復旧工事完了後

国道180号（日野町濁谷）の応急復旧状況



被災直後



応急復旧工事完了後

(2) 今後の予定

現在、災害査定を次のとおり日程調整しており、これに向け、測量設計に着手したところである。引き続き、国、市町村等と連携を図りながら迅速な災害復旧に努めていく。

<災害査定の手配> 11月26日の週（5次査定）、12月10日の週（6次査定）で調整中

※治山は、11月29・30日に実施予定

公園は、12月下旬から1月の間で調整中

山陰近畿自動車道整備推進決起大会の開催について

平成30年11月29日
道路企画課

11月13日に東京の衆議院第一議員会館にて、鳥取県、京都府及び兵庫県の関係者約250名（うち鳥取県約50名）が一堂に会し、「山陰近畿自動車道」の整備促進に向けて、必要性を訴えるとともに、平成31年度予算の確実な確保等を要望しましたので報告します。

1 大会の概要

日時：平成30年11月13日（火）午前9時30分～午前10時30分

場所：衆議院第一議員会館 大会議室

主催：山陰近畿自動車道整備推進議員連盟
（三府県国会議員有志で構成、会長：石破衆議院議員）

山陰近畿自動車道整備推進協議会
（三府県知事で構成、会長：西脇京都府知事）

目的：整備促進に向けて、必要性を訴えるとともに、平成31年度予算の確保を要望

出席者：国会議員連盟：石破衆議院議員（会長）、舞立参議院議員、外 全10名

三府県知事：平井鳥取県知事、西脇京都府知事、井戸兵庫県知事

自由民主党：竹下ITS推進・道路調査会長

国土交通省：田中政務官、池田道路局長、水谷中国地整局長、黒川近畿地整局長

三府県議会議員の会：前田鳥取県議会議員（幹事長）、外 全5名

関係市町：深澤鳥取市長、長戸岩美町副町長、外 全10名

関係市町議会：鳥取市議会、岩美町議会、外 沿線市町議会

その他：三府県の観光、商工関係者等 総勢約250人（うち鳥取県約50人）



2 主な発言要旨

石破 衆議院議員	いかにして地方に雇用と所得を作るかということにおいて、この道路程急ぐものはないと思っている。遅れたところほど早くやるべきで、地方の負担は少なくあってしかるべきだ。そういう思いで共に力を尽くしていきたい。
竹下 ITS推進・道路調査会長	高速道路ネットワークは国家戦略として作るものであり、山陰近畿自動車道は日本海国土軸という大きな国家構想の中で重要な地位を占める。我々ふるさとにとって高速道路は悲願であり、一日も早く作り上げていくのが我々の務めである。
田中 国土交通政務官	今年は特に災害の多い年であり、防災・減災対策は喫緊の課題。災害時等の緊急時の代替路確保により、国土強靱化に寄与するなど、日本海側の国土軸形成における重要な道路。必要な道路整備を推進するためにも、予算確保が必要である。
霜村 鳥取商工会議所常議員	広域連携、災害時の代替機能確保、空港へのアクセス向上のため、早期着工、完成をスピード感を持って実現してほしい。
平井 鳥取県知事	鳥取県立中央病院が完成間近であり、是非この病院を使って、命の道に繋げていただきたい。天橋立、城崎温泉、鳥取砂丘は、800万人規模の観光地である。この道路が繋がれば海外の旅行者を含めて周遊が見込まれる。
西脇 京都府知事	7月豪雨では、山陽、中国、名神自動車道が通行止めとなり、本来ならば代替機能としてその役割を担うべき道路が、その役割を担えていない。改めて早期全線整備の重要性を痛感。3府県力を合わせて努力することを誓う。
井戸 兵庫県知事	7月豪雨では高速道路のない城崎が陸の孤島となる一方、高速道路が開通した香美町は豪雨の最中でも救急搬送ができた。まさに命の道、危機管理の道として高速道路の重要性を実感した。
深澤 鳥取市長	鳥取市はこの4月に中核市へ移行した。近隣自治体と連携を強化していくためにも、この道路の早期整備が何より肝要である。
前田 県議会議連幹事長	鳥取県は県庁所在地で一番最後に高速道路がついた。鳥取県にとって道路は本当に死活問題。3府県の会でしっかり頑張りたい。

中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進総決起大会の開催について

平成30年11月29日
道路企画課

岡山米子線の全線4車線化及び昨年12月に着工された江府IC付近の付加車線早期整備、次の付加車線設置に向けた検討の促進を国へ訴え掛けるため、県と中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC～米子IC間)4車線化促進期成同盟会(会長：米子市長)主催による総決起大会を、11月16日(金)に衆議院第1議員会館で開催しましたので、その概要を報告します。



1 大会の概要

日時：平成30年11月16日(金) 午前10時30分～午前11時30分
場所：衆議院第1議員会館B1階 大会議室
主催：鳥取県、中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC～米子IC間)4車線化促進期成同盟会
共催：中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進鳥取県議会議員連盟、中国横断自動車道岡山米子線全線4車線化促進市議会連盟、鳥取県西部地域振興協議会、中海・宍道湖・大山圏都市長会、境港管理組合議会
主な来賓：国会議員：赤澤衆議院議員、青木参議院議員、舞立参議院議員
国土交通省：池田道路局長、山本高速道路課長、福田中国地整道路部長
NEXCO西日本：酒井代表取締役社長、村尾取締役常務執行役員、小橋中国支社長、外2名
県議会議員：斉木会長、福岡副会長、内田幹事長、安田幹事(境港管理組合議会議長)、野坂幹事、松田議員、浜田議員 全7名
会員：平井知事、伊木市長(会長)ほか県西部自治体の首長・議長、鳥取県西部経済団体等 計約100名

2 主な発言要旨

平井知事	是非とも4車線化を実現し、安全で安心な高速道路整備の実現を図っていききたい。みなさまと一緒に声あげ頑張りたい。
赤澤衆議院議員	江府IC付近3.4kmの付加車線については、2020年度の完成を目指し橋梁工事を行っている。蒜山IC～米子IC間も力を合わせて4車線化を促進していきたい。国土交通省出身であり、中心的な力になってみなさまの期待に添えるよう頑張りたい。
青木参議院議員	なんとしてでも4車線化を実現しなければならない。我々は我慢に我慢をして今まで待って来た。4車線化は当たり前と思っている。みなさまと協力しながら進めていきたい。
舞立参議院議員	いろいろな路線の決起集会が行われているが、米子自動車道4車線化の整備は遅れているだけにひととき早く整備をするべきと考えている。今年の大災害では4車線の路線が効果を発揮し、4車線化はしやすくなった。4車線化の整備が進むよう全力で取り組む。
池田道路局長	全国各地の多くの災害から4車線の必要性が明らかになっており、現在4車線化の計画を見直しているところ。江府IC付近の付加車線は2020年度までの完成予定であり、国土交通省としてしっかりサポートしていきたい。
白石江府町長	宇多田ヒカルさんのCMで有名になった奥大山に観光客が増え、ミネラルウォーターの工場もありトラックも多い。事故や雪で通行止めになると一般道に流れ込み、今年の台風では県外からの観光客が町の避難所に避難してきた。全線4車線化をお願いする。
安田境港管理組合議会議長	境港の港湾は多大な整備をしてもらっており、米子自動車道4車線化の必要性を感じてこの会に加えてもらった。自衛隊の基地もあること、環日本海の発展のために重要な港湾であることも踏まえ、米子自動車道の整備をお願いしたい。
柴野皆生温泉旅館組合長	今年は災害が多くキャンセルも相次いだ。友人の漁師は、皆生温泉が暇だと捕ったものが安値でしか取引されないと嘆いており、周辺の景気にも影響を与えている。4車線化を進め、冬でも安心・安全に来てもらえるよう建設促進をお願いしたい。

3 要望活動

大会終了後、同日午後1時30分から国土交通省への要望活動を実施した。

県管理河川における緊急点検の結果等について

平成30年11月29日

河 川 課

平成30年7月豪雨や台風24号等の出水後に実施した県管理河川における緊急点検の結果及び河床掘削と河川伐開の対応方針について報告します。

1 緊急点検の結果

管内	異常堆積 (河積阻害率 20%以上)			樹木繁茂 (河積阻害率 30%以上)		【参考】 管理 延長 (km)
	箇所数	堆積量 (千 m ³)	【参考】試算 河床掘削費(百万円)	箇所数	【参考】試算 河川伐開費(百万円)	
鳥取	137	120	720	58	221	360
八頭	11	156	936	12	244	213
中部	73	240	1,440	97	601	299
米子	36	138	828	58	187	206
日野	55	284	1,704	56	127	227
合計	312	938	5,628	281	1,380	1,305

※河床掘削費 … m³あたり 6,000 円(経費込)で試算

事例



八頭管内：千代川(智頭町智頭) 米子管内：佐陀川(米子市下郷) 八頭管内：八東川(八頭町用呂)

参考：予算推移(※補正含み)

単位：千円

	H26	H27	H28	H29	H30
河床掘削	185,670	195,144	195,144	195,144	746,000※
河川伐開	255,101	188,857	209,295	209,295	210,000

2 河床掘削及び河川伐開の対応方針

- ・水防上の重要箇所(水位周知河川、重要水防区域、河川災害危険箇所、トラブルスポット等)や地元要望といった観点で優先順位を整理し、計画的に実施していく。
- ・河床掘削土の他工事流用(堤防腹付け、工事用道路等)や河床低下した箇所における河床整理を積極的に実施し、コスト削減を図る。

鳥取港長期構想検討委員会の開催について

平成30年11月29日
空 港 港 湾 課

鳥取港の20～30年先の物流・人流など総合的な港湾空間のあり方をビジョンとしてまとめる長期構想を策定するため、学識経験者、物流関係者、地元関係者、関係行政機関による第1回鳥取港長期構想検討委員会を開催したので報告します。

1 経緯・顕在化している問題

- (1) 鳥取港では、これまでも静穏度不足により荷役作業の制限や船舶の損傷が発生するとともに、冬季風浪等による土砂流入により航路が埋塞し、水深確保に多額の経費を要している。
- (2) 昨年9月の台風18号、21号、今年7月豪雨では大量の土砂が航路に堆積（航路埋そく）し、入港予定の貨物船に喫水調整が必要となるロスが発生した。また、漂流物が入り込み、海上保安庁の巡視船や沖合底引網漁船の航行ができなくなる事態（泊地閉そく）が発生した。
- (3) 千代地区では分譲地面積94,964m²のうち99.2%が分譲済（未分譲752m²）であり、用地が不足しており新たな企業進出（利用）が困難な状況である。
- (4) 貨物船が大型化しており、3千トン以上の船舶の入港数は5年前の約2倍に増加し、受入が可能な主要岸壁に利用が集中（1号、3号岸壁）している。
- (5) クルーズ船が大型化しており、大型クルーズ船の入港ができない。（入港：3万トンまで）

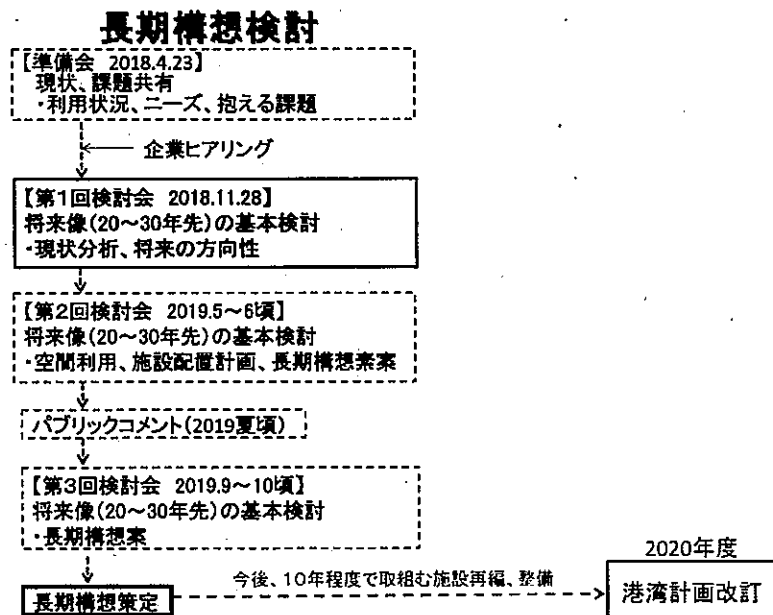
2 長期構想に向けた取組

- (1) 目的
 - ・20～30年先の物流・人流など総合的な港湾空間のあり方を構想・ビジョンとしてまとめる。
- (2) 現在の取組
 - ・静穏度不足、航路埋そく及び泊地閉そくの原因は千代航路から入り込む波、土砂及び漂流物であり、航路の見直し等も含めた対策の検討に、国に支援をいただきながら取り組んでいる。
 - ・本年4月23日に鳥取港長期構想検討準備会を開催し、鳥取港の現状・課題を共有した。
- (3) 今後の取組
 - ・鳥取港の課題解決のためには港湾計画の改訂が必要と認識しており、港湾計画改訂に向けて取り組んでいく。
 - ・港湾計画改訂には、まず長期構想を策定し、そのうち10～15年先の中期計画として港湾計画を位置づける必要がある。

4 第1回委員会の概要

- (1) 日時等：平成30年11月28日（水）13時から（県庁第2庁舎 4階第22会議室）
- (2) 内容：現状分析、将来の方向性の検討
- (3) 委員：須野原 日本港湾協会理事長、杢見 鳥取大学理事・副学長、馬場 鳥取大学准教授、深田 日本通運(株)鳥取支店長、石畑 (株)富士ユニコン取締役、広坂 小型船婦人部会長、羽場 鳥取市副市長、岸 賀露公民館主事、鈴木 中国地方整備局港湾空港部長、富樫 中国地方整備局企画部長、藤原 中国運輸局鳥取運輸支局長、佐名 境海上保安部長

5 長期構想検討の進め方



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】	主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	県土整備部 入札方式
道路建設課 鳥取県土 整備事務所	国道178号(岩美道路)橋 梁上部工事(浦富高架橋) (2工区)(補助)	岩美郡 岩美町 浦富	構造ブリッジ・横河住金ブリッ ジ特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社横河ブリッジ大阪支 店 支店長 梶 宏人	960,444,000 円 (予定価格) 1,066,899,600 円	平成30年10月19日 ～ 平成33年 3月15日	平成30年10月19日	制限付 一般競争入札 (4社)	

【変更分】	主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	県土整備部 変更理由
道路企画課	県道如來原御机線(南大山 大橋)橋梁補強工事(交付 金橋梁補修)	日野郡 江村町 宮市 日野郡 江村町 美用	シヨ-ボンド建設株式会社 岡山営業所 所長 藤澤 富雄	(当初契約額) 326,160,000円 (第1回変更後契約額) 338,892,120円 (変更額) 12,732,120円	平成29年12月28日 ～ 平成31年 1月 4日	(当初契約年月日) 平成29年12月27日	-	-
道路建設課	国道313号(倉吉関金道 路)橋梁上部工事(小鴨1号 橋(P4-A2))(補助改良)	倉吉市 小鴨	国道313号(倉吉関金道路) 橋梁上部工事(小鴨1号橋(P 4-A2))(補助改良) 富士ビー・エス・高野組特定 建設工事共同企業体 代表者 株式会社富士ビー・エス鳥取 営業所 所長 大村 康三郎	(当初契約額) 463,860,000円 (第1回変更後契約額) 467,021,160円 (変更額) 3,161,160円 (第2回変更後契約額) 466,188,480円 (変更額) △832,680円	平成29年10月20日 ～ 平成30年10月19日	(当初契約年月日) 平成29年10月19日 (第1回変更契約年月日) 平成30年3月23日 (第2回変更契約年月日) 平成30年10月5日	-	・コンクリート打設時の安 全性を考慮して仮設材を 強化したことによる工事 費の増。 ・他工区との調整によ り、交通誘導警備員の配 置人数を減らしたことによ る減。

県土整備部

【変更分】

主務課	工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	変更理由
道路建設課 [西部総合事務所 （米子県土整備局）]	街路葭津和田町線地盤改良工事（3工区）（防災安全交付金）（経済対策）	米子市 和田町	株式会社エイ・エイチ・エイ 代表取締役 幡原 淳	(当初契約額) 109,512,000円 (第1回変更後契約額) 116,438,040円 〔 (変更額) 6,926,040円〕	平成30年 2月28日 ～ 平成30年10月15日 (変更後工期) 平成30年10月31日	(当初契約年月日) 平成30年 2月27日 (第1回変更契約年月日) 平成30年10月10日	- ・室内配合試験結果に基づき、固化材添加量を変更したことによる工事費の増。 ・同時期に実施していた支障物件移設工事及び他工区との工程調整による工期の延長。
河川課 [中部総合事務所 （県土整備局）]	北条川放水路改修工事（護岸工）（6工区）（経済対策）	東伯郡 北条町 弓原	株式会社井中組 代表取締役 井中 紳二	(当初契約額) 115,344,000円 (第1回変更後契約額) 115,344,000円 〔 (変更額) 0円〕	平成30年 3月 2日 ～ 平成30年10月31日 (変更後工期) 平成31年 2月28日	(当初契約年月日) 平成30年3月2日 (第1回変更後契約年月日) 平成30年10月25日	- ・掘削土について、曝気作業及び流用先の工事との調整に時間を要したことによる工期延長。
治山砂防課 [西部総合事務所 （米子県土整備局）]	佐陀川砂防堰堤工事（2工区）（交付金）（経済対策）	西伯郡 伯耆町 丸山	松越建設株式会社 代表取締役 松越 秀志	(当初契約額) 92,016,000円 (第1回変更後契約額) 101,225,160円 〔 (変更額) 9,209,160円〕	平成30年 3月16日 ～ 平成30年10月29日 (変更後工期) 平成30年11月30日	(当初契約年月日) 平成30年 3月15日 (第1回変更契約年月日) 平成30年10月25日	- ・当初想定していた岩盤線と現場の岩盤線に相違があり、軟岩の掘削量が増加することによる工事費の増。 ・台風24号の影響を受け、管理用道路及び工事用仮設道路が破損したため、復旧工事を追加することによる工事費の増。 ・上記の復旧工事追加による工期延長。